

令和元年12月 守口市教育委員会定例会の概要

○日時：令和元年12月23日

開会：午前10時00分～午前10時33分

○ 出席者

教育長 首藤 修一

教育委員

教育長職務代理者 渡邊 一郎

委員 江端 源治

委員 駒田 真由美

委員 堀 俊一

事務局

教育次長兼管理部長 小濱 利彦 指導部長 林 安喜夫

総務課長 宮木 勝博 学校管理課長 林 慶

学校管理課参事 小森 勝 学校教育課長 森田 大輔

保健給食課長 西本 岳史 教育センター長 中村 文俊

生涯学習・スポーツ振興課長 宮垣 義隆 ほか担当職員

○教育長 ただいまから、教育委員会の定例会を開会いたします。

日程第1「会期について」をお諮りいたします。

本日の定例会の会議時間は午前10時から正午までの2時間といたしたいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 異議なしと認め、会議時間は正午までの2時間といたします。

それでは次に、日程第2「会議録署名委員の指名について」ですが、本日の署名委

員は駒田委員を御指名申し上げますので、よろしくお願ひいたします。

次に、日程第3「会議録の承認について」お諮りいたします。

既に委員の皆様には、3月28日に開催されました教育委員会3月定例会会議録案、8月28日に開催の教育委員会8月定例会会議録案、9月30日に開催の教育委員会9月定例会会議録案及び10月24日に開催の教育委員会10月定例会会議録案を配付いたしております。原案のとおり、承認することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長　それでは、異議なしと認め、教育委員会3月、8月、9月及び10月の定例会会議録案については、承認することといたします。

それでは、日程第4、議案第33号「令和2年度教育に関する予算についての意見案」を議題といたします。

議案の朗読をお願いいたします。

○事務局　議案第33号「令和2年度教育に関する予算についての意見案」

令和2年度教育に関する予算についての意見案を次のとおりとする。

令和元年12月23日提出　守口市教育委員会教育長　首藤修一。

○教育長　それでは、議案の説明をお願いいたします。

○事務局　それでは、議案第33号「令和2年度教育に関する予算についての意見案」につきまして、御説明いたします。

議案書2ページから3ページまでを御覧いただきますようお願いいたします。

3ページでございます。令和2年度教育委員会の予算案でございますが、経常的経費と臨時的経費の2本立てになっております。先に上段の会計年度任用職員以外的人的経費を除きました予算要求案につきまして、御説明いたします。

令和2年度当初予算要求額のうち、経常的経費の合計額は47億4,486万円。前年度に比べまして、32億510万3,000円の増でございます。内訳を説明いたします。教育総務費につきましては、要求額が3億5,635万円、前年度に比べ

1億1,646万5,000円の増額となっております。主な要因といたしましては、令和元年に臨時予算で計上しました集約型教育用校務サーバ整備事業及び電子黒板再整備事業の経常予算化による増額、自立援助通訳の派遣時間の増加に伴う増額と、学校図書館司書の勤務日数増加に伴う増額でございます。

次に、小学校費でございますが、要求額が37億3,012万1,000円で前年度に比べまして、28億3,001万2,000円の増額でございます。主な要因といたしましては、さくら小学校新築にかかる工事費及び工事監理費の経常予算化による増額、教員用教科用図書の購入費の増額と特別教室に設置する空調設備の電気及びガス使用料の増額でございます。

中学校費にまいります。要求額は4億2,371万円で前年度予算に対しまして、3,589万2,000円の増額となっております。主な増額の要因といたしましては、学校施設の維持管理にかかる工事費の増額と特別教室に設置する空調設備の電気及びガス使用料の増額でございます。

最後に、社会教育費でございます。要求額は2億3,467万9,000円で前年度予算に対して、2億2,273万4,000円の増額となっております。主な増額の要因といたしましては、市立図書館の指定管理開始に伴う指定管理料と図書管理システムのリースにかかる機器等の使用料及び保守業務委託料の増額でございます。

続きまして、臨時的経費の予算要求案について、御説明いたします。下段をご覧ください。ただきますようお願いいたします。教育総務費におきましては、学力向上の支援といたしまして、学校、家庭、地域の協働による教育コミュニティづくりを目指して、さつき学園で設置しております学校運営協議会を全中学校区に設置するための取組み、また、部活動の質の向上と授業研究の時間の確保を目的に今年度2校で試行実施している部活動指導員の全校配置を行うとすることでございます。部活動指導員を配置することで、部活動における教員の負担軽減を図り、よりよい授業づくりを行うための時間を確保します。これらの事業に必要な経費として、合計1,812万6,000

円を計上しております。

次に、小学校費でございますが、新しい学校づくりとよりよい教育環境の整備の観点から令和3年4月の市立さくら小学校新校舎供用開始に向け、必要な備品等の購入、新校舎への備品等運搬費及び工事の影響により近隣で電波障害が生じた際の対策費、また熱中症対策の一環として、小学校へのウォータークーラーの設置を行おうとするものです。また、小学校で使用するデジタル教科書の整備を行い、日々の授業における学習活動の効率化を図り、教員による個別指導の時間を確保するとともに、従来、教材準備にかけていた時間を教材研究や授業研究に充てることで、授業改善を図ろうとするものでございます。これらの事業に必要な経費といたしまして、2億2,055万1,000円を計上しております。

最後に、社会教育費におきまして、中西家及び大枝中村家文書等をデジタルデータに変換することで、文化財の保存性を高め、次世代への継承を確実に行いつつ、一層の公開と活用を行い、市民の文化財保護意識の涵養を図ろうとするものです。この事業に必要な経費として、725万4,000円を計上しております。以上が臨時的経費の予算要求案でございます。

2ページにお戻りいただきたいと存じます。2ページには地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、教育長から市長に提出する令和2年度教育に関する予算についての意見の文案を記載しております。文案を朗読させていただきます。

本市教育委員会では「郷土を誇りに思い、夢と志をもって国際化社会で主体的に行動する人の育成」を教育理念に掲げ、学校教育と社会教育が一体となって、学校・家庭・地域の教育力を高めながら、子どもの成長に関わる教育コミュニティの形成を目指すとともに、市民の多様な学習活動を支援し、学びときずなを深めながら生涯学び続けられる地域社会づくりを推進しております。

来年度におきましては、本市教育行政の更なる推進に向け、学力及び地域の教育力

の向上や、学校規模適正化の実現に努力するとともに、老朽化した施設への対応、生涯学習のさらなる発展などの諸課題を克服できるよう、①「新しい学校づくりとよりよい教育環境の整備」、②「学力向上への支援」、③「社会教育の振興」を重点施策として位置付けております。

具体的には、①「新しい学校づくりとよりよい教育環境の整備」においては、令和3年4月の市立さくら小学校新校舎供用開始に向け、今年度に引き続き新築工事に取り組むとともに、円滑な移転に向け、現さくら小学校からの物品の運搬や、備品等の新規購入を遺漏なく実施します。また、熱中症対策の一環として小学校にウォータークーラーを設置するなど、教育環境の改善に取り組んでまいります。

次に、②「学力向上への支援」においては、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、日々の授業において効率的に学習活動が進められるよう、全小学校等にデジタル教科書を整備するとともに、部活動の質を向上させつつ教員が授業の専門性を高める時間を確保できるよう、全中学校等に部活動指導員を配置してまいります。また、地域住民等の意見を学校運営に反映させ、工夫された教育活動の推進と学校支援活動の活性化を図るため、全中学校区に学校運営協議会を設置してまいります。

また、③「社会教育の振興」として、古文書のデジタルデータ化を行い、保存性を高め、その公開と活用を進め、市民の文化財保護意識の涵養に繋がります。

以上、重点事項のみを列記しましたが、「生きる力」と「生涯学び続ける人」の育成を目指して取り組んでまいりますので、教育に関して必要な予算の確保について、特段のご理解、ご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。御審議の上、御決定賜りますようお願いいたします。

○教育長 説明が終わりました。何か御意見、御質問等ございますでしょうか。

○委員 2点教えていただきたいのですが、経常的な経費の小学校費が大きくなっている理由が三つ挙げられている中で、さくら小学校の新築工事等にかかわる部分が経常予算化されたことが大きいだろうと思うのですが、これが増減率31.4%の内ど

れくらいの割合及び金額になっているのか。

○事務局 さくら小学校の新築工事費は、今年度と来年度の2カ年の工事を継続費という形で計上しておりまして、来年度につきましては、37億3,012万1,000円のうち、27億7,600万円ほどがさくら小学校の新築工事に伴う事業費です。約73%がさくら小学校の新築工事に伴う事業費として計上させていただいております。以上です。

○委員 もう1点、臨時的経費の小学校費の中の電波障害が生じた際の対策負担金について、これはどのくらいのことを想定して準備しておられるのか、内容を教えていただけませんか。

○事務局 電波障害の対策負担金と申しますのは、これまでも新築工事を施工する際に、現状の建物よりも違う位置に建ったり、高い建物が建った場合に、近隣の住民に電波障害が生じることがございます。そういった、建物に起因する電波障害が生じたときに、地域の住民へケーブルテレビを敷設するための負担金ということで、310万円の予算を計上しております。内訳は、10件で、1件当たり約30万円の予算を見込んで計上しております。以上です。

○委員 臨時的経費に、指導者用デジタル教科書の整備事業というのがありますが、対象となる教科、また、それはいずれ経常的経費に移っていくものだと思うのですが、それについても説明していただければありがたいです。

○事務局 指導者用デジタル教科書の教科について、国語と算数、社会、理科こちらの4教科の購入を考えております。また、こちらは今年度一括して購入し、4年間使用するものとなっておりますので、経常的経費へは回りません。

英語につきましては、こちらは購入を予定しております指導書に、デジタル教科書的なコンテンツと一緒に備わっているため、臨時的経費には含まれておりませんので、御理解いただきますよう、お願いいたします。

○委員 小・中一貫の英語教育というのを重視されている本市ですが、特に新規

に力を入れて何か授業を企画するというようなことはあるのでしょうか。

○事務局 小・中一貫9年間を見通した英語教育の推進につきましては、今年度より、府の加配を活用いたしまして、3中学校区の小学校に中学校教員が小学校へ籍を移すなど、中学校英語免許を保有する教員が指導に当たるという取組みをさせていただいております。さらに、2校区、こちらは中学校に籍をおきながら中学校教員が小学校の外国語指導に当たるという取組みをさせていただいております。特に、先ほど申しました小学校に籍をおいて授業を実施していくという取組みについては、次年度以降も継続して実施してまいりたいと思っております。なお、加配の授業の公開週間を設けまして、小学校教員で授業ができることを目指して、普段の授業を見ていただく取組みも進めさせていただいているところでございます。以上でございます。

○教育長 ほかございませんか。よろしいですか。

ほかに御意見、御質問がないようですので、採決をいたしたいと思えます。

議案第33号につきましては、原案どおり承認することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 それでは、異議なしと認め、議案第33号につきましては、原案どおり承認いたしました。

それでは、日程第5、議案第34号「令和2年度全国学力・学習状況調査への参加について」を議題といたします。

議案の朗読をお願いいたします。

○事務局 議案第34号「令和2年度全国学力・学習状況調査への参加について」

令和2年度全国学力・学習状況調査への参加について、次のとおりとする。

令和元年12月23日提出 守口市教育委員会教育長 首藤修一。

○教育長 議案の説明をお願いいたします。

○事務局 それでは、議案第34号、令和2年度全国学力学習状況調査への参加に

ついて、説明をさせていただきます。恐れ入りますが、議案書4ページから29ページを御参照賜りますようお願いいたします。

令和元年12月16日に文部科学省総合教育政策局長より、大阪府教育庁を通じて、令和2年度全国学力学習状況調査への参加及び協力について、依頼がございました。

まず初めに、学力調査のこれまでの経過を説明いたします。

平成19年度から平成21年度は全国調査が悉皆調査であったため、本市においても全校参加をいたしました。平成22年度から平成24年度は抽出調査となったことから、平成22年度は市費により全校参加するとともに、23年、24年度は大阪府調査へ全校参加いたしました。また、平成25年度から令和元年度は全国調査が再び悉皆調査となったため、同様に全校参加をしております。

令和2年度も今年度と同様、悉皆調査となっております。議案書6ページ以降に実施要領を載せておりますので、御参照願います。

まず、6ページを御参照いただきますようお願いいたします。「I. 調査の目的」につきましては、これまでと変更なく、児童生徒の学力や学習状況を把握し、教育施策の改善等に役立てることとなっております。

次に、7ページの3. (1)に記載のとおり、調査日は令和2年4月16日木曜日でございます。

6ページに戻りまして、2. (1)「調査事項」におきましては、児童生徒に関する調査について、示されております。

「教科に関する調査」として、小学校で国語と算数、中学校で国語と数学が実施され、今年度より調査問題において「知識・技能」に関する問題と「活用」に関する問題が1単位時間で一体的に実施されており、令和2年度も同様に一体化された調査問題となっております。

また、調査問題とは別に生活習慣や学校環境等に関する調査として、児童生徒に対する質問紙調査と学校に対する質問紙調査がございます。

今年度の変更点といたしましては、全児童生徒を対象とする本体調査に加えて、文部科学省が調査対象として抽出する対象校において、「経年変化分析調査」及び同じ抽出校において、「保護者に対する調査」が実施されるものでございます。学力調査への参加につきましては、次年度も参加いたしますと、14回目となります。現在、これまでの調査結果の経年比較を通し、長期的な改善・課題について分析し、課題に正対した取組みを進めるようにするなど、学校に対し、支援を行うため活用をしております。

教育委員会といたしましては、子ども達の学力向上に向け、よりスピード感をもって着実に取組みを推し進めなければならないとの認識のもと、今年度より教職員や子ども達の意欲をより一層喚起するための授業改善、また自学自習力にかかる目標値を設定し、令和3年2月には本市の児童生徒の学習状況について、全国水準以上を目指すとの目標を掲げております。

各校での目標の共有とその達成に向けた取組みの具体化を図るため、教育長による各学校長とのヒアリングを実施し、指導を行うとともに、各校の学力調査の分析会議に指導主事を派遣し、課題と改善策を示しておるところでございます。

授業改善においては、今後求められる授業づくりにかかる教職員研修の開催に加え、校内研究会に事前研究から継続的に指導主事を派遣するとともに、本市の課題に即した研究校を指定し、その成果について共有化を図っております。

とりわけ国語においては、全国学力調査の結果から本市においても、読解力を含めた課題を重く受けとめており、普段の授業において「文章を要約して読む」ことなどを取り入れた事例や指導のポイントを示した実践事例集を配布するとともに、研究指定校による国語の公開授業研究会を開催するなど、授業改善に努めているところでございます。

また、自学自習力の育成においては、家庭・地域への発信に加え、校長会や学力向上推進教員会議を通じて、放課後学習等の持ち方を工夫し、成果へとつなげている学

校の詳細について、情報共有を図り、各校の放課後学習がより効果的に進められるよう指導するとともに、今年度より全校実施しております土曜日学習会においても、民間事業者と児童の学習状況等の情報を共有しながら、自学自習力の育成に向け、取り組んでいるところでございます。

本調査結果を家庭・地域へ積極的に発信することで、学校・家庭・地域が一体となって取り組む必要性を再認識するきっかけとなっております。今後とも調査結果の分析を充実させ、施策の見直しや改善を行うため、また、学校・家庭・地域が連携した取組みを進める上でも、今回の全国調査に参加することは必要であると考えております。以上、誠に簡単な説明でございますが、これまでの学力向上へ向けた取組みをさらに進めるため、令和2年度全国学力・学習状況調査へ参加することにつきまして、よろしく御審議の上、御決定賜りますよう、お願いいたします。

○教育長 説明が終わりました。何か御意見、御質問はございませんでしょうか。参加については、1月の定例会で決定するのですか。

○事務局 本日の定例会での決定をお願いいたします。

○教育長 本日決定するわけですね。

○委員 先ほど説明を受けたのですが、学力調査の対象に対して、支援学級を利用されている子どもの中で、例えば6年生で6年生までの学力に満たない子というのは、親は学力調査を受けさせたいという気持ちもあるかもしれないですけど、子どもは習っていなければ、全然できなかつたらという不安もあると思うのですが、その説明を保護者の方に担任の先生が説明されるのか、支援学級の先生が説明されるのかわからないのですが、丁寧な説明をしてほしいと思います。要望としてですが、お願いします。

○教育長 ほかがございませんか。ほかに御意見、御質問がないようでございますので、採決いたしたいと思います。

議案第34号につきましては、原案どおり承認することに御異議ございませんでし

ようか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長　それでは、異議なしと認め、議案第34号につきましては、原案どおり承認いたしました。

それでは、ほかに何か報告、連絡等はありませんでしょうか。

○事務局　令和元年度国の補正予算案における、ICT環境整備につきまして1点御報告申し上げます。このたび、閣議決定されました令和元年度補正予算案につきましては、校内通信ネットワークの整備と義務教育段階の児童・生徒1人1台端末の整備を目的として、総額約2,318億円が計上されているところでございます。本市におきましても、ICT環境整備につきましては、電子黒板の全教室への配置、iPad42台の各校への配備等、積極的に進めてきたところでございます。今回、国から児童・生徒1人1台端末を配備するというので、予算化されておりますので、今後、国の動向を踏まえまして、検討してまいりたいと考えておりますので、御報告させていただきます。

なお、本日、国が都道府県に説明会を開催しておりまして、今週末に府から市町村への説明会がございます。その際、詳しい説明があるかと思っておりますので、今後検討を進めてまいりたいと思っております。以上でございます。

○教育長　今の件について、今の段階で何か御質問、御意見ございましたら、どうぞ。よろしいですか。また、詳しいことは次の定例会でということをお願いをしたいと思います。

ほかに報告、連絡等はありませんでしょうか。教育委員の皆様から、何かありましたら、この際出していただいたらと思っておりますが。

ないようでございますので、本日の定例会を閉会いたしたいと思っております。